LMI世界宣教会近藤恵宣教師会計報告（０８年１０月～１２月）

		10月	11月	12月
収入	近藤恵宣教師指定	239,300	161,800	276,300
	前月繰越金	1,377,844	747,484	892,274
	合　計	1,617,144	909,284	1,168,574
支出	近藤恵宣教師支援金	310,200	0	0
	語学研修費	320,166	0	200,000
	年金・支える会経費	27,234	1,010	500
	帰国準備金	0	0	120,000
	渡航費	91,000	0	0
	海外旅行保険	98,060	0	0
	LMJ事務局費	23,000	16,000	27,000
	次月繰越金	747,484	892,274	821,074
	合　計	1,617,144	909,284	1,168,574

献金者お名前

（教会）明野キリスト教会、岩井キリスト教会、牛久福音キリスト教会、大泉聖書教会、大磯キリスト教会、かもい聖書教会、自治医大前キリスト教会、下館キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、白岡福音キリスト教会、菅生キリスト教会、都賀キリスト教会、蓮田キリスト教会、日立福音キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、松山聖書教会、水戸下市キリスト教会、宮崎北聖書キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、横浜緑園キリスト教会

（個人）赤堀美和子、池田百合子、井上稲子、岡本英次･真奈美、川崎豊、国井昭男、小池宏明、沢田陽子、染矢睦子、武田香、立石哲･早苗、田中泉、田中美智子、中井靖子、中村充･みちる、長谷川昭雄、日高誠･幸恵、藤川多嘉子、本田恵、三浦健治、光畑京子、四宮義文･牧子、渡邊ゆきこ、自治医大前キリスト教会個人、匿名（敬称略）　　尊い献金をありがとうございました。

編集後記

バングラデシュでの最初の３か月、恵宣教師は、蚊や蟻も含め新しい環境と戦っています。ベンガル語の文字との格闘も始まりました。天来の力を得なければできないことばかりです。恵宣教師とともに私たちも求め、捜し、たたき続けましょう。午前６時、午後３時、９時の同刻の祈り続行中。（ひ）

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。　（マタイ７：７）

連絡先:〒329-0403
栃木県下野市医大前3-7-1
近藤恵宣教師を支える会
（自治医大前キリスト教会内）
Tel&Fax:0285-44-7564
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
http://homepage3.nifty.com/meg/
E-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp
郵便振替払込
口座番号:00110-1　番号:91993
加入者名:LMI世界宣教会
通信欄:近藤恵宣教師指定献金

近藤恵宣教師ニュースレター NO.７
２００９．１．１８
発行：近藤恵宣教師を支える会

神様の手の中の

小さな えんぴつ

わたしは神の手の中にある小さな鉛筆のようなものです。神が考え、神が書くのです。鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われるだけです。　（マザー・テレサ）

心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。　（申命記６：５）

敬愛する兄弟姉妹のみなさま、お元気でお過ごしですか？ダッカは今、昼間は半そでででも気持ちがいいぐらい、夜は毛布が２枚必要といった感じです。私は今回、バングラデシュではじめてのクリスマスと新年を迎えました。言葉もしゃべれない、ひとりでは何もできない赤ちゃんを育てるように、主は、私のためにいろいろな方々を、そして環境を備えてくださいました。

これからの道のりがどういうものかわかりませんが、主に信頼し、主を愛し、この１年を歩んでいきたいと思います。お祈りと尊い献げものを感謝いたします。

バングラデシュにやってきました

10月15日に無事ダッカに到着しました。空港では、会ったことはないL先生が出迎えてくださり、ちゃんと私を見つけてくれました。そして、LM-Bangladeshのゲストハウスの私の部屋のドアには、大きなハートがついていて、‘Welcome Megumi to our LMB team.’と書かれており、部屋の中には、チョコレートやビスケットなどの食料がたくさん入ったバスケットが置かれていました。着いたのは深夜だったのですが、その日の朝、ノックの音にドアを開けた私の前には、満面の笑顔のL 夫人が立っていたのでした。こうして私は、温かく迎えられたのでした。

ベンガル語の学び相手、１歳半のアリーナちゃんを抱く近藤恵宣教師

10月27日からベンガル語の学校が始まり、日曜から木曜まで、朝２時間通っています。たった２時間だけですが、とても集中的なコースなのでこれで十分です。古くなった脳に覚えさせるために、学校から帰ったあと、３回の復習の時間を組んで、何とかついていっています。そして夕方には、L家のAya（お手伝いの人）さんたちとおしゃべりするのが日課になっています。この時、たいていL家の末っ子で、１歳半のアリーナが一緒なので、ふたりで‘エタキ？’（これは何？）と言って一緒に学んでいます。そのうちに彼女が私を追い越してしまうでしょう。

最初は、ひとりで外出もしなかったのですが、ひとりで歩き回るようになり、さらにリキシャに乗るようになり、次はCNG（以前ベビータクシーと呼ばれていた３輪の小さな車）に乗るようになって、行動範囲を広げられるようになりました。お店の人たちは、無愛想な人も多いけれど、親切な人もたくさんいます。外国人なので、英語で値段を言ってくれることが多いのですが、聞くと‘シャイットタカ（60タカ）’などと教えてくれます。

蚊との戦いがあったり（デング熱の危険があります）、群がる蟻との戦いがあったり、交通ルールのほとんどない道路をひやひやしながら渡ったりしていますが、とても元気にしています。バングラデシュのカレー、トルカリも気にいっています。

神様からのクリスマスプレゼント

リキシャが目立つダッカの街並み

バングラデシュでのはじめてのクリスマスは、LAMB Hospitalで過ごしました。私が行く予定は12月21日から26日、そしてアメリカから来ている外科医のDr.Bは、22日から25日までお休みを取るという予定だったので、残念ながら、彼の仕事を見るという目的は果たせないかと思っていました。でもDr.Bは、22日に午前中の手術と病棟回診、午後の外来をすませてから出かけたので、彼の仕事を見せてもらうことができました。また、23日には、婦人科の手術を少し手伝うこともできました。これで良い導入だと喜んでいたら、これだけですみませんでした。

24日の夜に若い妊婦さんが腹痛を訴えてやって来、どうも腸の問題ではないかということで、診察を依頼されました。どうも腸閉塞のようです。経鼻胃管と点滴で経過を観察したところ、明け方、高熱となり、再び診察しました。この段階では手術の方が良さそうです。ということで、25日の朝は、手術室で緊急手術をすることになりました。手術は癒着剥離ですみ、一安心でした。

思いがけず、バングラデシュではじめての手術をクリスマスの日にすることになったのですが、これも神様のご計画なのでしょう。そして「ここで何とかやっていけるかな？」といういくらかの自信を私に与えてくれたクリスマスプレゼントでした。

Prayer request

1．ベンガル語の学びのために。１月から文字の学びを始めました。
2．英語でのコミュニケーション能力が高められるように。他の外国人、そしてバングラデシュ人との意思疎通のためにもとても重要です。
3．１月15日からバングラデシュ人のクリスチャンホームで生活しています。生活習慣に慣れ、良い交わりができるように。
4．派遣教会の自治医大前キリスト教会のために。
5．母と姉の救いのために。